



平成22年度当初予算

ふるさと秋田元気創造プランに基づく施策

〔 2 〕

- 元気A 秋田に、新たな“戦略産業を創出”する
〔新エネルギー政策の全体像〕
- 元気B 秋田の“食・農・観”を丸ごと売り出す
- 元気C 県民が一丸となって“脱少子化秋田”を果たす
- 元気D 高齢化社会に対応した“安心医療秋田”、“協働社会秋田”をつくる
〔“安心医療秋田”の全体像〕

秋 田 県

「元気A」 秋田に、新たな“戦略産業を創出”する 【新エネルギー政策の全体像 ~暮らしと産業に根づく秋田スタイル構築への挑戦~】

地球温暖化対策の加速

~化石燃料依存から脱却し、再生可能な新エネルギー利用主体へ

本県の多様で豊富な自然エネルギーポテンシャル

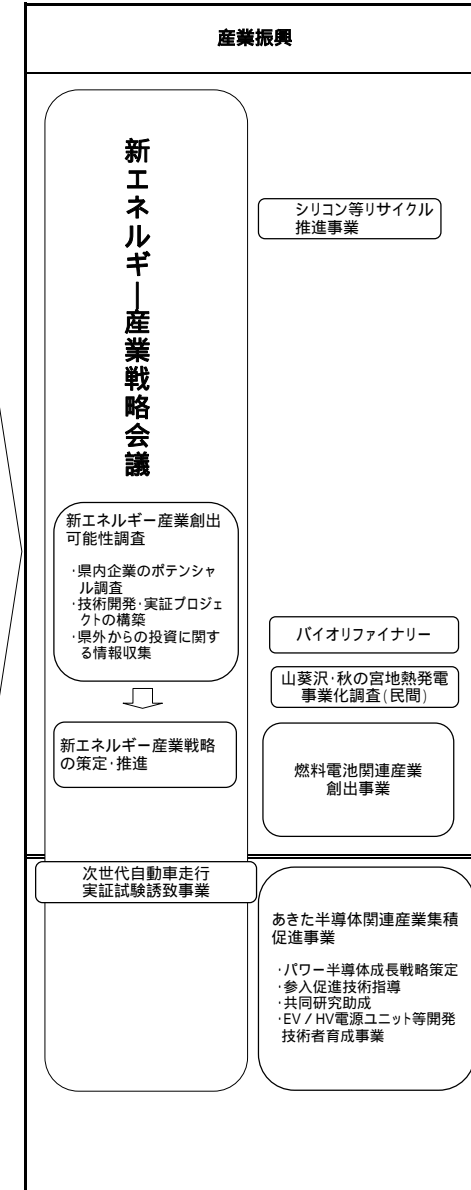
~自然エネルギー自給率全国第3位

低炭素型社会システムへの移行

~新エネルギー産業は将来にわたる成長分野

| 種類 | | 研究レベル | 実証レベル | 普及レベル | |
|---------|----------|----------|--|---|---|
| 個別エネルギー | 風力 | | 小型風力発電設備(県産)の導入 | 風況調査の支援 | |
| | 太陽光 | | グリーン電力証書化 | 住宅用太陽光発電システム普及補助 | |
| | 小水力 | | 小(マイクロ)水力発電実用化可能性調査 小水力発電パンフレット作成 | | |
| | バイオマス | バイオエタノール | セルロース系バイオマスの糖化発酵 | 秋田スギバイオエタノール製造実証(国) 稲わらバイオエタノール製造実証 FFV車による走行実証 稲わらの収集運搬実証(民間) | |
| | | 木質(森林) | | 木質バイオマス搬出モデル実証事業 ペレットストーブ普及調査 | バイオマス発電の支援(間伐材等搬出) 森林吸収量のクレジット化(J-VER) |
| | 地熱 | | | | |
| | 燃料電池 | | 固体酸化物形(SOFC)リサイクル共同研究(燃料電池関連産業創出事業) 県内産天然ガス対応燃料電池システム適性調査(燃料電池導入促進事業) | | |
| 社会システム | 次世代自動車 | EV等 | 次世代自動車走行実証試験 | EV・PHV公用車利用 | |
| | | バイオ燃料 | FFV車による走行実証(再掲)(民間) | BDF公用車利用 | |
| | スマートグリッド | | 直流グリッドによる地産地消エネルギーインフラ実証事業(国) | | |
| | 環境価値化 | | | 森林吸収量のクレジット化(J-VER)(再掲) グリーン電力証書化(再掲) | |

ここに掲載している事業は、平成22年度に取り組むものである



秋田が低炭素型社会の先進県・トッププランナーに

農業から観光サービス業まで幅広い産業への波及と雇用の創出

豊富な県内資源を活かした環境価値の販売(グリーン電力証書など)

「元気B」秋田の“食・農・観”を丸ごと売り出す

ブランド品目の産地づくり

ブランド品目生産の担い手づくり

- 複合経営にチャレンジする担い手を支援
- 経営の多角化や経営力強化のための機械・施設の導入に助成
- 複合型の生産構造に転換する集落営農組織を支援
- 「もうかる経営実証圃」による実証
- ブランド化支援

秋田オリジナルなブランド産地づくり

- 園芸作物の急成長型産地の創出
- ・全県の生産振興対策、産地の重点支援
- 統合家畜市場の整備
- 秋田牛全国チャンピオン獲得対策
- 比内地鶏の認証制度推進対策
- ・ブランド認証制度の推進、DNA識別
- ・首都圏等での販路拡大
- サクラムスの増殖体制の整備

国の米政策の転換に対応し、県独自の支援策を創設

- 国の米政策の大幅な転換によって生じる影響を考慮し、農業経営の体質強化と地域農業の活性化を図る
- ・助成金水準が低下する転作作物へ助成
- ・秋田米・えだまめの販路開拓への支援
- ・転作作物の定着拡大のための条件整備

交流を促進する観光を創造

ビジネスとして継続・発展する観光の育成

- 農林水産物、スポーツなどを組み込んだ新たな観光ビジネスの企画・開発に関する取組を支援
- ・観光ビジネスに新たに参入しようとするプランへ支援
- ・地域素材を活かした旅行商品開発への助成
- 観光資源の売り込みと旅行商品づくり
- ・JR東日本の媒体を活用した首都圏PR
- ・温泉等の資源を活かした地域密着型の旅行商品造成

海外からの観光客の誘客対策

- 韓国からの観光客誘致と秋田韓国間の交流促進
- ・現地コーディネータの配置、観光情報の発信
- ・旅行会社の広告経費、国際利用の団体への助成
- 台湾、香港、中国広東省からの誘客拡大
- ・台湾現地コーディネータの配置、観光情報の発信
- ・旅行エージェントの招聘、秋田泊旅行商品の広告

男鹿水族館の魅力アップ

- アザラシ・アシカのショーを行う施設の増築（設計業務）
- ホッキョクグマの産室の整備

東北新幹線新青森駅延伸の効果活用

- 観光客増加を図るための旅行商品の造成や情報発信

食品産業の成長を加速

「売れる商品」づくりの推進と中核事業者の育成

- 食品産業の中核企業の育成
- ・専門家等による事業拡大のための課題抽出と支援
- ・量産体制に必要な施設整備への助成
- 意欲的な事業者への生産・流通・販売の集中支援
- ・首都圏の商談会へのブース出展支援
- ・商品開発とマーケティング力の強化支援
- 総合食品センターの新技术を活用した新商品開発
- ・新食品開発を目指す食品事業者・農林水産業者・流通販売業者のグループを支援
- 県外食品企業のニーズと県内食品製造者の技術シーズのマッチングによる新商品開発

農商工観による
連携ビジネスを
創出する

多様な産業との連携融合による新ビジネスの創出

- 新ビジネスに挑戦する農業法人や直売所等への支援
- ・ビジネス創出のための実需者等とのマッチング
- ・農業法人等の経営多角化への助成
- ・直売連絡会の「看板スイーツ」の共同開発助成等
- 農業・食・観光を連携させたコミュニティビジネス
- ・ビジネスモデルの実証（旅行商品、棚田オーナー）
- ・農産物の販売促進や地域情報発信の人材育成

- ご当地メニューを組み込んだ観光プランづくり
- ・ご当地メニューと観光を結びつけ、首都圏消費者旅行者、マスコミにPR
- ・食イベントへの参加、農・食連携の商談会の開催
- 多様な販売ルートによる水産ビジネスの推進
- ・水産ビジネスモデル戦略会議の開催
- ・水産ビジネス推進員の配置による販路拡大

農商工の連携体の育成、ネットワーク構築

- 農商工支援ネットワークの構築と新商品開発支援
- ・関係団体等による支援ネットワーク会議の設置
- ・農林漁業者と観光事業者などの連携による新商品の開発と生産体制確立への支援
- 農商工連携体制の強化
- ・農商工連携推進員の配置（情報収集、マッチング）

秋田を丸ごと売り込む
“セル・アキタ”を推進

多様な販売チャネルの確保による販路拡大

- 「あきた美彩館」を拠点とした、秋田の食、物産、観光の売り込み
- ・京急電鉄等と連携した秋田の祭り、物産、食材の展示会・フェア
- 通販を活用した厳選県産品の全国への売り込み
- ・食品や物産の通販カタログギフトの作成
- ・食彩あきた応援大使によるキャンペーン
- 展示会等による物産の売り込み・情報発信
- ・秋田の食材を首都圏の飲食店等に売り込む県産品フェアの開催
- ・インターネットを活用した県産品のPR

秋田の青果物や水産物の販売力の強化

- 青果物等の販売力を向上させるためのマーケティング活動の強化
- ・秋田の顔となる品目の販売戦略の実践（椎茸、ネギ、比内地鶏等）
- ・秋田コーディネーターによる首都圏ニーズとのマッチング
- ・外食・中食・量販店のバイヤーとの商談会の開催
- ・首都圏量販店の「秋田県産コーナー」における販売促進活動
- ハタハタのブランド化と首都圏への販売促進

海外マーケットへの販路拡大（元気Aの取組）

- 県産の日本酒、農産物等の海外における販路拡大
- ・シンガポール、アセアン、ロシア、北米、欧州地域での特産品フェアへの出展
- 県産農産物、食品の輸出による販路拡大
- ・台湾、香港での物産展、試食会の開催
- ・ロシアでの販路拡大のための企業訪問・商談会の開催

「元気C」 県民が一丸となって“脱少子化秋田”を果たす

官民協働による“脱少子化あきた”を推進

市町村が裁量を発揮して少子化対策に取り組む 交付金制度の創設

市町村少子化対策包括交付金制度（仮称）の創設

- 用途**
- ・市町村における少子化対策の推進体制づくり
 - ・市町村の裁量を活かした少子化対策の推進
若者の定着支援、結婚支援、子育て支援など
- 財源等**
- ・市町村の義務負担は求めない 県10/10
 - ・執行方法は、直接執行・補助・委託など自由
- 期間**
- ・当面3年間。成果等を検証し、あり方を検討。

市町村振興資金について、子育て関連施設の整備等を対象化。

少子化対策応援ファンド（仮称）の創設

県の財源や県民からの寄付金等でファンドを造成。
NPOやサークル等の子育て支援などの取組に助成する。

- （事業資金）**
- ・県が設置する基金からの繰り入れ
 - ・県民・企業・団体からの寄付金や募金
（預金商品、ステッカー募金等）
- （助成対象団体）**
- ・NPO、サークル、ボランティア団体などの民間団体
及び企業

官民協働により、“脱少子化あきた”を総合的に推進

“脱少子化ウェーブを巻き起こす”行動県民会議を母体とした
県民運動の展開

- 企業や団体が取り組む少子化対策を県民会議と協定する
「子どもの国づくり推進協定」（仮称）の締結促進
「育児の日」の制定、子ども連れ優先などの運動展開
県民と一体となった啓発活動
- ・キャッチフレーズ、シンボルマークの公募
 - ・フォーラム・イベントの開催、大規模イベントへの助成
 - ・テレビ番組の放映、新聞等による広報
- 意見交換会等の開催による県民の意見・提言の把握
少子化対策の官民の取組を発信する総合HPの開設

「結婚支援センター」 等により若者の出会い と結婚を支援

「あきた結婚支援センター」 活動の全県展開

- 企業・団体とのネットワークづくり
- 結婚コーディネーターやサポーターに
よる出会いと結婚の支援
- 出会いの場づくりに取り組む民間企業等
すこやかあきた出会い応援隊の活動
支援
- 出会いを希望する独身男女へのメール
マガジンでの情報配信

子育て等の環境整備を促進

多様なニーズに対応した保育機能の強化と 子育てサポート体制の充実

- 認定こども園の普及拡大
- 待機児童解消策の推進
 - ・保育所の増改築等による定員増
 - ・年度途中での0歳児増加を見込んだ保育士の当初
配置
- 病児・病後児保育の体制強化（看護師配置基準の緩和等）
- 預かり保育制度の充実（保護者・私立幼稚園の負担軽減）
- 事業所内保育施設の整備促進（病院内保育所の助成対象拡大）
- 放課後児童クラブや放課後子ども教室など、子どもの居場所づくりの促進
- 地域における子育てサポート体制の充実
- 地域子育て支援拠点施設の整備促進
- 協賛店の拡大による子育て家庭優待サービスの拡大

企業による仕事と 育児・家庭の両立 支援

両立支援に取り組む企業 の取組支援

- 企業による「仕事と育児・家庭の両立支援」の取組の拡大
- 一般事業主行動計画策定の働きかけ
- 父親の育児参加促進
- 男女イキイキ職場宣言事業所との協定締結促進
- 家庭教育応援団企業の登録促進
- 企業の取組を促進するインセンティブメニュー制度の創設
- 結婚・出産等を理由に退職した社員の再雇用への助成など
- 両立支援に取り組む企業のPR
- 取組企業とその内容をHPへ掲載、紹介冊子の配布
- 「子育て応援企業」として表彰

子育て等に対する 経済的支援

医療費や保育料、教育費等に対する 経済的支援

- 乳幼児医療費や保育料への助成
- 不妊治療に関する助成、相談・情報提供の充実
- 妊婦健康診査（全14回のうち9回分）への助成
- 中・軽度聴覚障害児に対する補聴器の購入費用の助成
- 公立高校の授業料無償化、私立学校の授業料に対する支援拡充
- 入学一時金貸付制度の拡充（専門学校生卒の新設）

「元気D」 高齢化社会に対応した、“安心医療秋田”、“協働社会秋田”をつくる 【“安心医療秋田”の全体像】

生活習慣病、自殺予防対策を県民運動として展開

生涯を通じた生活習慣病予防対策の推進

食生活、運動、喫煙等の生活習慣の改善

- ・減塩&野菜を食べよう県民運動の展開
- ・「スポーツ立県あきた」健康づくりの推進
- ・学校や職場での喫煙防止教育、健康教育の推進 など

メタボリックシンドロームの予防に関する啓発等の推進

- ・メタボ予防フェスタなどメタボ予防キャンペーンの実施
- ・若年期からの予防対策の推進
- ・企業訪問による特定健康診査及び特定保健指導の普及啓発
- ・企業訪問によるメタボ予防栄養相談・アドバイスの実施 など

自殺予防総合対策の推進

地域における自殺対策を緊急に強化

- ・自殺予防キャンペーン、県政広報誌特集記事掲載、TVスポット放映等
- ・地域ごとの課題に応じた独自の自殺対策を支援（市町村支援）
- ・自殺予防活動に取り組む民間団体の取組を支援（民間支援）
- ・ハローワークでの心の健康、多重債務や生活問題などの巡回相談などの実施
- ・「あきたいのちのケアセンター」の相談員増員と通年フリーダイヤル相談等体制の強化

医療関係者向けうつ対策研修の実施

自殺予防ネットワークの強化

心の健康づくり・自殺予防対策推進体制の整備

- ・秋田県健康づくり審議会・心の健康づくり推進分科会の開催
- ・精神保健福祉士等の配置による自死遺族等相談活動の強化実施 など

総合的ながん対策・充実強化

がん検診率の向上

市町村、検診実施機関、企業等と連携し受診率を50%にアップ

- ・20～39歳の子宮がん検診への助成
- ・がん検診受診勧奨センター（仮称）を設置し、電話等による受診勧奨やがん検診情報の提供等を実施
- ・休日のがん検診のための医師等雇い上げ経費の助成
- ・企業や地域と連携した受診促進のための啓発活動の展開 など

質の高いがん医療の提供と緩和ケアの充実

地域のがん患者の情報を収集・解析する地域がん登録の推進

県内主要医療機関10病院のがん診療機能強化のための経費を助成

- ・がん診療に係る医療従事者研修、連携体制整備、院内がん登録、相談支援、普及啓発に要する経費

がん治療に関する調査研究

- ・秋田大学医学部附属病院（腫瘍センター）への委託

放射線治療機器（リニアック）の整備への助成（由利組合総合）

がん認定看護師の資格取得の促進

- ・緩和ケアチーム従事者や在宅緩和ケアに関する医療従事者に対する専門研修の実施 など

医療提供体制の確保・充実

周産期医療体制や救命救急機能の充実

安心して出産できる環境の整備

- ・総合周産期母子医療センター（秋田赤十字）の運営費及び設備整備への助成
- ・地域周産期母子医療センター（大館市立総合、平鹿総合）の運営費への助成
- ・産科医療機関確保のための助成（鹿角組合総合、北秋田市民、雄勝中央、市立角館総合）

二次医療圏で対応困難で特殊な政策的医療（救命救急医療、神経難病医療）を提供する病院の運営費を助成

- ・救命救急センター（秋田赤十字）
- ・地域救命救急センター（平鹿総合）
- ・神経病センター（秋田赤十字）
- ・成人病医療センター

地域の中核的な救急医療を担う医療機関への助成

- ・県内の中核的な救急告示病院（自治体病院等を除く）の運営費を助成
- ・救急医療に従事する医師の休日・夜間手当に対する助成
- ・救急告示病院の休日・夜間の救急医療を地域の診療所医師が支援する場合の経費等への助成（平鹿総合、雄勝中央ほか）

二次医療圏で対応困難で特殊な政策的医療を提供する病院の機器整備への助成

- ・秋田赤十字病院の救命救急センター及び神経病センターのセントラルモニターシステム等の医療機器を計画的に整備
- ・ドクターヘリの導入 など

医師確保に向けた総合的な支援

県内の公的医療機関等に医師として勤務しようとする医学生大学院生、研修医に対する修学資金等の貸与枠の拡大

産科医等の確保に向けた分娩手当の助成

女性医師の就業相談窓口の設置

秋田大学医学部に地域医療に関する寄附講座を設置

岩手医科大学に医師派遣型の寄附講座を設置

- ・鹿角地域医療推進学講座
- ・専門研修医及び指導医を対象とした短期海外研修の実施
- ・ドクターバンクによる即戦力となる医師の招聘 など

【地域医療再生事業（医師確保対策）】

- ・秋田大学医学部に全県共同利用型医療シミュレーションセンターを整備
- ・秋田大学医学部に医師派遣型の寄附講座を設置
- ・医療機関に対し医療秘書の育成に要する経費の一部を助成
- ・県の要請により診療応援を行う非常勤医師に対し地域勤務手当を支給
- ・県内の二次医療圏における診療科目ごとの必要医師数等を調整し、医師配置計画を策定
- ・テレビCM等による救急医療の適正受診の普及・啓発 など

地域の中核的な病院の医療機能の強化と高度医療の充実

厚生連病院の改築促進

- ・旧施設解体費及び処分費等の助成（鹿角組合総合、北秋田市民、平鹿総合）
- #### 地域医療の充実に向けた設備の整備に対する支援
- ・3次元眼底像撮影装置（平鹿総合）
 - ・分娩監視記録装置（雄勝中央）
 - ・デジタルイメージングシステム（成人病医療センター） など

【地域医療再生事業（北秋田医療圏）】

- ・大館市立総合病院の救命救急機器整備への助成
- ・北秋田市民病院救急医療の宿日直等応援診療の掛かり増し経費の助成
- ・救急告示病院の休日及び夜間の救急手当の支給に要する経費に対する助成
- ・休日・夜間の救急医療を地域の診療所医師が支援する場合の経費等への助成
- ・地域医療支援センターの設置
- ・ドクターヘリ導入（再掲） など

【地域医療再生事業（大仙・仙北医療圏）】

- ・仙北組合総合病院の改築等に係る協議会の開催
- ・救急告示病院の休日及び夜間の救急手当の支給に要する経費に対する助成
- ・休日・夜間の救急医療を地域の診療所医師が支援する場合の経費等への助成
- ・脳卒中に係る連携体制を構築するための地域連携クリティカルパス導入を支援
- ・地域医療支援センターの設置 など